

## へき地・小規模校教育の振興

### 【現状と課題】

本県の公立学校の約50%はへき地等にありま。また、小学校の約76%は11学級以下の小規模校であり、小学校では258校が、中学校では34校が複式学級を有しています。児童生徒の約5人に1人はへき地等の小規模校で学んでおり、本県教職員の3人に1人はへき地等の学校に勤務しています。

これらのことから、へき地・小規模校教育の振興を図ることは、本県教育の振興を図る上で重要です。

へき地等には、豊かな自然や大切に守られてきた地域の伝統芸能など様々な教育資源が見られ、県内各地のへき地校では、総合的な学習の時間等で、地域の伝統文化などを生かした特色ある教育活動が展開されています。

学校規模による学力の傾向について、全国学力・学習状況調査の結果では、小中学校とも総じて大きな差は生じておらず、また、複式学級を有する学校とそうでない学校の平均正答率も同程度であるという結果が得られています。

### 【これからの施策の方向性】

へき地・小規模校ならではの「よさ」を積極的に生かした特色ある教育活動を推進します。

複式学級の指導の在り方や各教科等の授業の進め方等に係る教職員の指導力の向上を図るとともに、へき地・小規模校に勤務する教職員の研修機会の確保に努めます。

### 【主な取組】

へき地・複式教育指導資料の作成・配布や実践事例の紹介により、へき地・複式教育の充実に努めます。

大規模校との交流学习の促進や教育機器等を活用した教育方法の改善等により、へき地・小規模校の活性化に努めます。

へき地等で行う研修や総合教育センターが行う研究提携事業、複式学級担任や中学校免許外教科担任教員を対象とした研修の一層の充実に努め、へき地・小規模校に勤務する教職員の資質向上に努めます。